

回覧

大歳の内水氾濫 どうすればなくなる？

現地見学会のご案内

大歳では、10年ごとに大規模な内水氾濫が起き、大規模な床上浸水に悩まされています。水路の排水機能を上回る降水量が原因ですから、ポンプによる排水機能の向上や、貯水場の整備で、水があふれ出さないなどの対策が必要です。

山口市も本気で内水氾濫対策を取ると言っており、現地からきちんとした要望をまとめる必要があります。岩富、三作、和田の3つの氾濫地域を①水路への取水口から②川への排水口まで、全てを見て対策をせねばなりません。まず現地を見て、どこを変えればよいのか話し合いをすすめて、要望書にまとめていきましょう。被害にあわれた方々の積極的ご参加とご意見をお待ちしています。なお、移動はそれぞれの車で移動したいと思います。

見学予定地

中川関係 湯田堰（取水口） 水流調整器 千代丸、供有橋の排水口 洪水防止工事の
成果確認 中川の排水口と貯水場候補地

法満寺川関係 宇部山口道路による湧水処理 貯水機能の劣化
排水口のポンプ（2台）

和田水門 法満寺からの取水口 千代丸堰と山からの水（止水不能？）
巨大な貯水機能 和田水門（自動化なし、ポンプなし）

日時 3月17日（日） 9時～11時

集合場所 大歳交流センター

自治会活性化部会 担当 武波